

仙台市立 太白小学校「太白アントレ」(平成15年度)

<p>教育の対象者 小学1～6年生</p> <p>教育の実施者 仙台市立太白小学校</p> <p>教育プログラムの企画者 小学校長、教頭、教諭</p>
<p>教育プログラム企画の背景・経緯 仙台市立柳生小学校にアントレプレナーシップ教育を導入した渡邊忠彦校長が、2003年度より太白小学校校長となり、同校にアントレプレナーシップ教育を導入。</p> <p>教育プログラムの目標 日本がいつそう創造的で活力に満ちた国として発展するために、あらゆる生活の基盤となる教育の場において、生涯学習社会にふさわしい個性豊かで創造性に満ちた人材を育成すること、そのための学習の環境を整えるため、新たな生涯学習の視点に立つ学びの機関として2003年の夏休みから「太白アフタースクール」を設置。「太白アフタースクール」の狙いは以下の通り。 子どもに興味関心を持って学ぶ喜びを知り、自ら学ぶ習慣を体得させる。 生涯学習社会に必要な学習意欲、自立心を養う。 次世代支援ボランティアのネットワークを拡大し、家庭・社会の教育力向上を目指す。 次世代支援を通して、コミュニティづくりをおこなう。 「太白アフタースクール」の講師は、地域・民間の子育て支援ボランティアや教師がボランティアで務め、受講費用は実費のみである。講座は、休日や放課後に開催し、講座内容(例)としては、生活を楽しくしてくれる学び、日本文化の学習や世界文化の紹介、子どもの力を育てる学習を挙げており、そのうち子どもの力を育てる学習の1つとして「太白アントレ」の講座を開講。</p> <p>教育プログラムの目的 まちづくりを正面からとらえて、少子化、高齢化の進む地域を元気にする。 自分達の住む太白の町を見直し、自分なりの課題を見つける。 地域の人々に進んで関わり、課題について調べる。 学習したことを基に自分と地域のつながりを考え、よりよい地域を作ろうとする。</p>
<p>教育プログラムの内容</p> <p>実施期間・回数・頻度・延べ時間 ・2003年12月から2004年1月まで、休日や放課後に地域住民がボランティア講師となって開催する「太白アフタースクール」で実施。</p> <p>実施場所 ・教室内</p> <p>対象者の人数規模 ・小学1～5年生 14名</p> <p>プログラムの内容 ・太白地域の自然に着目し、自然素材を活用して太白の魅力を伝える商品を“太白山からの贈り物”として開発し、値付けをした。商品は、ドングリ染めや木製置物、コースター等々約10種。 ・2003年10月18日(土)に「太白区民祭り」に「太白アントレ」として出店し、4～6年生の児童が販売実践をおこなった。品切れになるなど大きな反響を呼んだ。 ・開発した商品は、東北経済産業局主催の「小中学生発明王コンテスト」に出品した。 ・その他、まちをきれいにするための活動や、地域紹介のイベントなども、企画して取り組んでいる。</p> <p>講師 ・教頭 赤倉 ひろみ 氏</p>

(財)産業研究所、委託先：(株)U F J 総合研究所
「東北地域におけるアントレプレナーシップ教育推進に関する調査研究」(平成 16 年 2 月)

<ul style="list-style-type: none">・教諭 佐藤 昌子 氏・仙台第一高等学校教諭 藤川 氏・同校 理科クラブの高校生・宮城県立工業高等学校教諭 長谷川 俊一 氏・同校 教諭 長谷川 美枝子 氏 使用教材 ・特になし
教育プログラムの効果 起業教育を体験した子供達は夢中になって取り組み、「もっと続けたい」と話している。子供の学習意欲を格段に高めた。 親からも「大人になった」と大好評の学習であった。
照会先 仙台市立太白小学校 校長 渡邊 忠彦 氏 ・〒982-0212 仙台市太白区太白 1 丁目 5 番 1 号 ・TEL:022-245-8944 Fax:022-307-1272

(資料)モニタリング結果
太白小学校資料